

全国植樹祭について

1 全国植樹祭とは

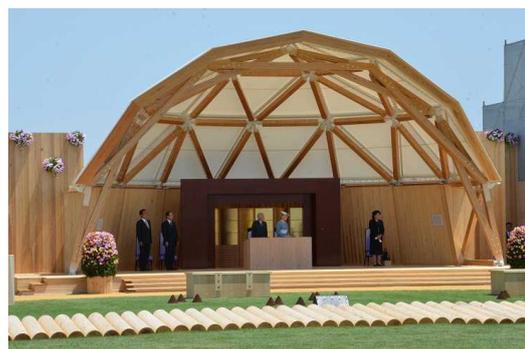
全国植樹祭は、国土緑化運動の中心的行事として、昭和25年以来、毎年春に国土緑化推進機構と開催地都道府県との共催により開催されます。

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多数の参加者を得て、両陛下によるお手植えや参加者による記念植樹が行われます。

<全国植樹祭の様子（平成27年5月17日：石川県）>



式典会場



お野立所



お手植え



植樹会場

(写真：石川県提供)

2 本県における全国植樹祭の開催状況

本県では、昭和45年5月に猪苗代町天鏡台を会場とした「第21回全国植樹祭」が「後継者の森」をテーマにして開かれ、天皇皇后両陛下のお手植えに続いて、県内外から2万3千人の参加者がアカマツの苗木を植えました。



昭和45年5月（植樹祭当時）



平成25年7月（現在）

3 第69回全国植樹祭(平成30年)開催にあたっての主な経緯

- 全国植樹祭福島県準備委員会の開催（H26.1～H27.1、全5回）
 - ・構成：36名（学識者、林業関係団体、各種団体等、市町村、県）
 - ・主な役割：基本構想の策定および開催候補地の選定
- 第69回全国植樹祭の本県開催を申出（H26.5.29）
- 第69回全国植樹祭の本県開催が内定（H26.8.8）

第 69 回全国植樹祭基本構想 (H27.1 策定) の概要

開催理念

- ・ 県民参加の森林づくり活動を推進します。
- ・ 本県の復興・発展を加速する原動力とします。
- ・ 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生を目指します。
- ・ 県内外の多くの方が参加できるようにします。
- ・ 国内外からの支援に対する感謝と復興に向かって強く歩み続ける福島を広く発信します。

大会テーマ及びシンボルマーク

平成 27 年度に公募のうえ選定します。

開催会場

- (1) 式典会場
天皇・皇后両陛下によるお手植え・お手播き等の式典行事を行います。
- (2) サテライト会場
式典と同日に、参加者による植樹活動等や各種催しを行います。
- (3) PR 会場
式典会場やサテライト会場以外にも、多くの方に全国植樹祭を楽しんでいただけるよう、立ち寄りやすい場所で各種催しを行います。

開催規模

式典参加者 11,000 人程度（関連行事参加者を含め 25,000 人程度）とします。

開催時期

平成 30 年（2018 年）春季に開催します。

企業協賛等

全国植樹祭の趣旨に賛同をいただける企業等から協賛を仰いで、開催内容の充実に努めるとともに、大会の気運を高めます。

実施組織

全国植樹祭の開催に向けて、第 69 回全国植樹祭福島県実行委員会を設置します。

<構成> 会長：知事、委員：県内主要機関・団体の代表等

<目的> 基本計画、実施計画の策定など総合的な企画運営

式典会場等

式典会場は、(公社)国土緑化推進機構と協議のうえ、平成27年度に決定予定
サテライト会場とPR会場の具体的な箇所は、平成27年度に策定する基本計画で設定予定

- 凡例
- 式典会場
 - サテライト会場
 - PR会場
 - 関連事業の会場調整エリア
 - IC
 - 高速道路等
 - 新幹線
 - 在来線

